

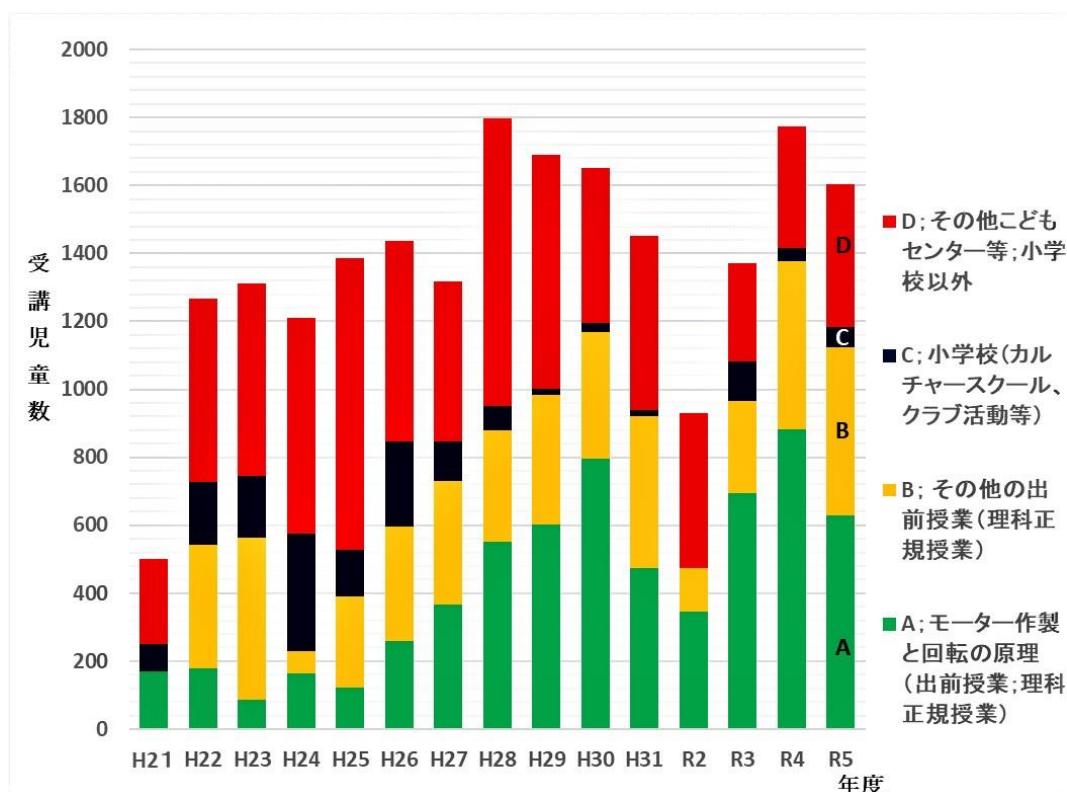
## 2023年度（R5年度）理科で遊ぼう会事業報告書

2023年度（R5年度）は東京応化科学技術振興財団の科学教育の普及・啓発助成（2023年4月～2024年3月）から受けた助成金を主体に活動した。

### （事業内容）

#### （1）授業・講座の参加児童数の推移

H21年度からの推移を以下のグラフに示す。グラフ中A（緑）は小学校出前授業中のモーター、B（黄）はモーター以外の出前授業、C（水色）は小学校におけるカルチャースクール、クラブ活動など、D（赤）は小学校以外の行事の受講者数である。R4年度はコロナ禍が過ぎH28年度に匹敵する受講児童数になり、今年度も同様の伸びとなった。



#### （2）小学校出前授業

モーター作製は9校22クラス（R4年度11校29クラス）、ビタミンCの濃度判定の滴定実験は5校14クラス（R4年度3校9クラス）である。プラスチックの問題を考えるは、内容を改善し1校1クラス（昨年度2校4クラス）実施したが、好評だったので新年度は他校にも紹介したい。

昨年度と比較すると、常連の清新小、谷口台小が学校の事情で授業が出来なかったこともありクラス数が減少した。一方でビタミンCの授業は6年生の3学期に増加した。これはビタミンCの授業を中学校への橋渡しとして実施した学校が増えたことによると考えられる。

なお、3学期にインフルエンザや新型コロナ第10波による感染拡大で、学校によっては1クラス10名程の欠席者がおり、モーターの授業は欠席者が合計で72名、ビタミンCは欠席者が合計で54名、ヘロンの噴水の授業は欠席者が10名とない、今年度受講児童数は、予定より138名減少した。なお、数年前までは欠席者が50名程度であったが、今年度は昨年度と同数の138名だった。

（詳細は次ページの表の通りである）

2023年度 小学校出前授業受講者数				在籍	出席者	欠席者	モーター		モーター以外	
							出席	欠席	出席	欠席
12月11日	月	小山小学校	6年生ビタミンC	67	67	0		67	0	
12月12日	火	小山小学校	6年生ビタミンC	34	34	0		34	0	
12月15日	金	二本松小学校	5年生モーター	60	55	5	55	5		
12月18日	月	二本松小学校	5年生モーター	30	27	3	27	3		
1月23日	火	相模台中学校支援学級	バルサ紙飛行機	12	10	2		10	2	
1月23日	火	九沢小学校	5年生モーター	35	33	2	33	2		
1月24日	水	九沢小学校	5年生モーター	70	58	12	58	12		
1月29日	月	串川小学校	5年生モーター	18	18	0	18	0		
2月2日	金	上溝南小学校	5年生モーター	119	108	11	108	11		
2月5日	月	二本松小学校	6年生ビタミンC	80	72	8		72	8	
2月8日	木	九沢小学校	6年生ビタミンC	38	32	6		32	6	
2月9日	金	九沢小学校	6年生ビタミンC	76	49	27		49	27	
2月14日	水	内郷小学校	5年生モーター	13	10	3	10	3		
2月16日	金	九沢小学校	4年生ヘロンの噴水	106	96	10		96	10	
2月19日	月	小山小学校	5年生モーター	65	61	4	61	4		
2月21日	水	内郷小学校	6年生プラスチック (煮干しのハラワタ観察)	13	13	0		13	0	
2月22日	木	小山小学校	5年生モーター	34	32	2	32	2		
2月26日	月	くぬぎ台小学校	5年生モーター	60	54	6	54	6		
2月28日	水	鶴園小	5年生モーター	71	68	3	68	3		
3月1日	金	鶴園小	5年生モーター	35	30	5	30	5		
3月4日	月	相武台小学校	5年生モーター	56	42	14	42	14		
3月6日	水	谷口台小学校	6年生ビタミンC	65	62	3		62	3	
3月7日	木	谷口台小学校	6年生ビタミンC	66	58	8		58	8	
3月8日	金	鶴園小学校	5年生モーター	36	34	2	34	2		
3月11日	月	串川小学校	6年生ビタミンC	16	14	2		14	2	
			合計	1275	1137	138	630	72	507	66
							小計	702	小計	573
							ビタミンC	388	54	

※1 モーター以外が例年以上に多いのは、3学期に6年生ビタミンCを行った学校が増加したことによる

※2 欠席者の大多数は、コロナおよびインフルエンザの感染による

### (3) プラスチックに関する講座

アトリエ・アルケミストと協働で6月に2週間10回連続のシリーズ実験講座（リサイクル例、プラスチックに代わるもの）を行った。なお、9月に入って、プラスチック授業についての検討委員会を設置して検討したので、出前授業は1月まで実施せず2月に1校だけ実施した。

### (4) 中学校での実施

今年度初めてのことであるが、特別支援の生徒向けの講座を依頼されたので、障害のある生徒に対応するために先生方と協議して内容を一部修正したバルサ紙飛行機の出前授業を実施した。

### (5) 昼休み理科遊び

二本松小学校からの依頼を受けて、木曜日のロング昼休みの時間を利用した30分講座、2年生（キット）、4年生（種モデル）、6年生（糸電話）を実施し、児童から好評だったので来年度も実施する予定である。

### (6) 学校外の活動

①公民館や児童館・子どもセンターでは、種モデル、バルサ紙飛行機、モーター、ポンポン船を実施、また、さがみはらエコパーク（環境情報センター）では夏の環境学校として土の中の生き物を実施した。

②古淵ハウジングステージ（飛ぶ種モデル）、相模原カルチャーセンター（飛ぶ種モデル、ゴム動力へ

リコプター、モーター、バルサ紙飛行機、光の不思議)、ひまわり畑 (バルサ紙飛行機)、いごちよか (ビタミン C)、ヨテアモ (種モデル、キツツキ) を実施した。

(7) さがみはら市民活動サポートセンター (サポセン) との協働事業

①サポセンパネル作り、相模ボランティア事業への協力、プチ・インターン (ボランティアムービー作り) に協力した。

②プチ・インターンは大学生 (北里大 3 年生、相模女子大 2 年生と 3 年生、実践女子短大 1 年生) が本会のムービー作りに参加し、作業会の様子とポンポン船の講座を撮影し 5 分強の紹介動画を完成させた。(ホームページにアップし、外部の人にも見てもらうようにした)

③夏休みボランティアチャレンジスクールは高校生 (1 名) が作業会 (8 月 16 日) と大野南子どもセンターの講座 (種モデル) 8 月 29 日に参加した。

**(会の運営：役員会、運営委員会)**

- (1) 新役員候補：総会資料 (2023 年度理科で遊ぼう会収支予算書案) の検討依頼 (3 月 30 日)
- (2) 役員・運営委員及び新役員・運営委員候補による合同会議：授業・講座と作業会の交通費について検討 (4 月 19 日メール開催)
- (3) 役員会：サポセン相模ボランティア事業協力申し込みについて検討 (4 月 4 日)
- (4) 役員会：ゆうちょ銀行、名義の書き換え手続き (提出書類：4 月 1 日付会則、会員名簿) のため、事務所住所を変更した会則を作成 (4 月 5 日)
- (5) 役員及び新役員候補：エコパークさがみはらの夏休み環境教育について検討 (4 月 5 日)
- (6) さがみはら市民活動サポートセンターに団体登録票 (変更)、会則、会員名簿を提出 (4 月 6 日)
- (7) 新役員候補：定期総会資料 (2023 年度事業計画、予算案) の最終検討を依頼 (4 月 24 日)
- (8) 定期総会：正会員 23 名中 出席 16、欠席 7、委任状 5 (5 月 7 日実施)
- (9) 役員および運営委員による合同会議 当面使用しない物品の保管場所 (メールで協議 5 月 8 日)
- (10) 役員および運営委員による合同会議 書面臨時総会の開催および会則の改訂を協議 (5 月 8 日)
- (11) 役員会：東京応化科学振興財団第 17 回「科学教育の普及・啓発助成事業」終了報告書提出 (5 月 13 日)
- (12) 書面臨時総会：ゆうちょ銀行に会則を提出するにあたって、第 2 条を新代表の住所に変更、議決権行使書 18 名提出 (賛成 18、反対 0) (5 月 15 日)
- (13) 役員および運営委員による合同会議：ホームページの会員用サイトの内容変更 (伝助を使用しない)、会則の全面的見直しについて (メールで協議 5 月 25 日)
- (14) 役員会：会則の全面的見直しの検討開始 (7 月 19 日～ 適宜メールで意見交換)
- (15) 運営委員 (会計担当)：前期分の交通費支給 (10 月 4 日)
- (16) 役員会：会則の全面的見直し、1 月 31 日に臨時総会を実施することに決定 (11 月 1 日)
- (17) 役員会：会則改定案・新旧対照表作成、一般会員へ周知、運用規程の見直し (12 月 6 日)
- (18) 役員および運営委員：運用規程の見直し案の検討 (メールにて協議 12 月 7 日～19 日)
- (19) 作業会で運用規程改定案のたたき台・新旧対照表についての意見交換 (12 月 20 日)
- (20) 会則改定案および運用規程改定案を全会員にメールで送り、意見を募集 (12 月 21 日)
- (21) 役員および運営委員：東京応化科学振興財団 第 19 回「科学教育の普及・啓発助成」申請書の検討 (メールにて)、12 月 25 日申請書提出

- (22) 運営委員会：運用規程改定案について協議（1月17日）
- (23) 臨時総会：会則の改定について（1月31日）  
正会員26名中、出席20名、委任状3名、賛助会員も1名参加  
会則改定案の賛成23名（含む委任状）、反対0により改定案は承認された。
- (24) 運営委員会：新会則に基づいて新運用規程を策定、全会員に周知（2月20日）
- (25) 役員および運営委員：定期総会用資料（2023年度事業報告、2024年度活動方針・計画）作成（2月17日～4月14日）
- (26) 役員会：理科で遊ぼう会基金への拠出を50,000円に決定（3月28日）  
モーター部品検討委員会の設置を決定（3月28日）
- (27) 運営委員（会計担当）：2023年度収支決算書完成（3月28日）
- (28) 運営委員（会計担当）：後期分の交通費を支給（4月3日）
- (29) 会計監査（4月14日）、2024年度収支予算書作成（3月27日～4月14日）
- (30) 役員会：東京応化科学振興財団第18回「科学教育の普及・啓発助成事業」終了報告書作成（4月1日～4月30日）
- (31) 役員会：定期総会準備
- (32) 定期総会（5月6日）をもって新役員に引き継ぎ

#### <作業会>

- (1) 作業会は計21回、延べ323名の会員が参加、一回あたりの平均参加者は約16人で毎回熱のこもった意見交換や作業をすることができた。
- (2) 二極モーターの手作りキット1000台作製を目指し、予定通り10月には完成することができた。これは会員の協力体制が整い帳簿形式の生産管理表とモーター部品作製工程表が機能したためと考える。
- (3) プラスチックの進め方については、これまでとは異なる観点からの意見が出たことにより、検討委員会を立ち上げ、3学期の出前授業に間に合うように案を作成した。

#### <会員の異動>

2023年度：正会員26名、12月から賛助会員として1名（藤田）加わった。しかし、年度末をもって3名（矢野、嘉戸、内田）が退会、ゆえに年度末の正会員数は23名、賛助会員は1名である。

なお、2024年度は賛助会員（藤田）が正会員になり、さらに新たに2名（生田目、米村）が入会、ゆえに計3名が加わることにより年度当初の正会員は26名となる。

退会3名はやむを得ない事情で残念だが、新たに3名が入会したことにより、会の運営と活性化に良い刺激が生まれ、大変良いことである。

#### <今後の展望>

会が発足してから15年になるが、会員諸氏には常に改善を求める心があり、新鮮さを失うことなくやってきている。この気持ちを大切に活動を進めていきたいと思う。